

4. OTTOP の活用事例数の把握及び利活用促進

昨年度の本事業において、補助事業者にて、沖縄県の観光情報と交通情報をオープンデータとして公開するためのプラットフォームとして、令和元年8月23日より「Okinawa Transit and Tourism Opendata Platform（以下、OTTOP）」を開設した。

本章では、OTTOP の今後の利活用促進に向け、活用状況の把握を行った。

図表 49 OTTOP の活用状況の確認項目

① OTTOP のアクセス、DL 等の状況		・ OTTOP における事業者等からのデータダウンロードや API へのアクセス状況の確認。
② OTTOP の利活用の状況		・ OTTOP の活用状況の確認。
②-1 デジタルサイネージによる公共交通出発情報提供	②-1 デジタルサイネージによる公共交通出発情報提供	・ 那覇空港に設置しているデジタルサイネージへの公共交通出発情報提供に係るシステム活用。
	②-2 国内の経路検索事業者（コンツンツプロバイダ）における活用	・ 国内経路検索事業者の活用状況や検索状況を確認した。
	②-3 観光情報サイト等における活用	・ 県内自治体からの各種相談や海外の観光情報サイト等の活用状況を確認した。

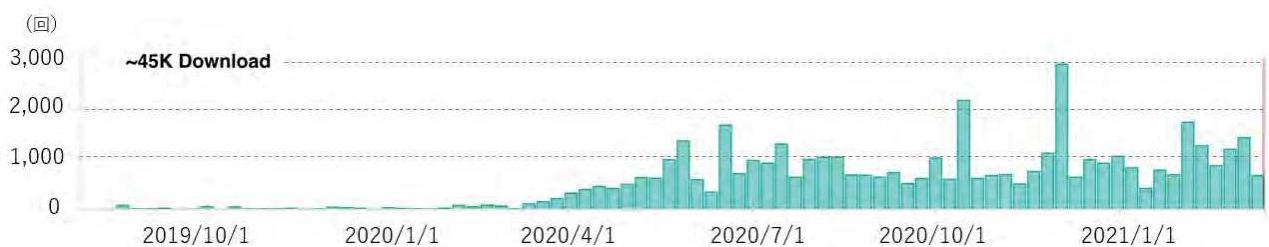
4.1 OTTOP のアクセス及びダウンロード等の状況

OTTOP のアクセス、DL 等の利用状況の確認を行った。

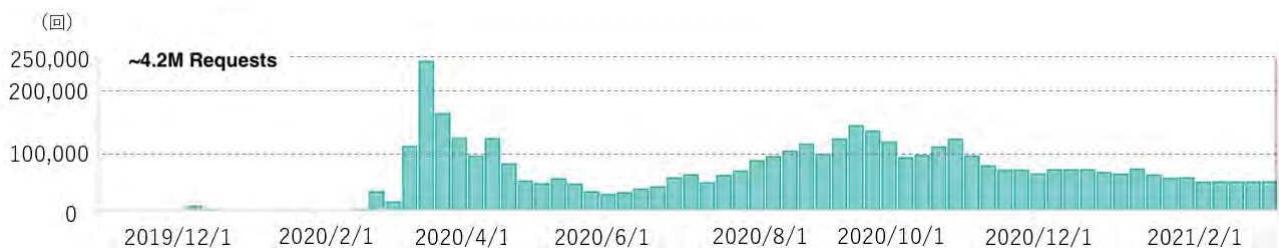
ダウンロードについては、定常的に利用している IT サービス事業者のクローリング（自動取得）と考えられるダウンロードもあり、週約 1,000 件弱のダウンロードが確認されている。

API については、デジタルサイネージのシステム利用等を中心として、週約 5 万回程度のアクセス件数を確認した。

データダウンロード及び API のアクセス件数については、上記のように定常的な利用が確認される一方で、ハッカソン等のイベントや導入検討の時期により増加する週も確認された。



図表 50 GTFS データのダウンロード件数（週単位）の推移



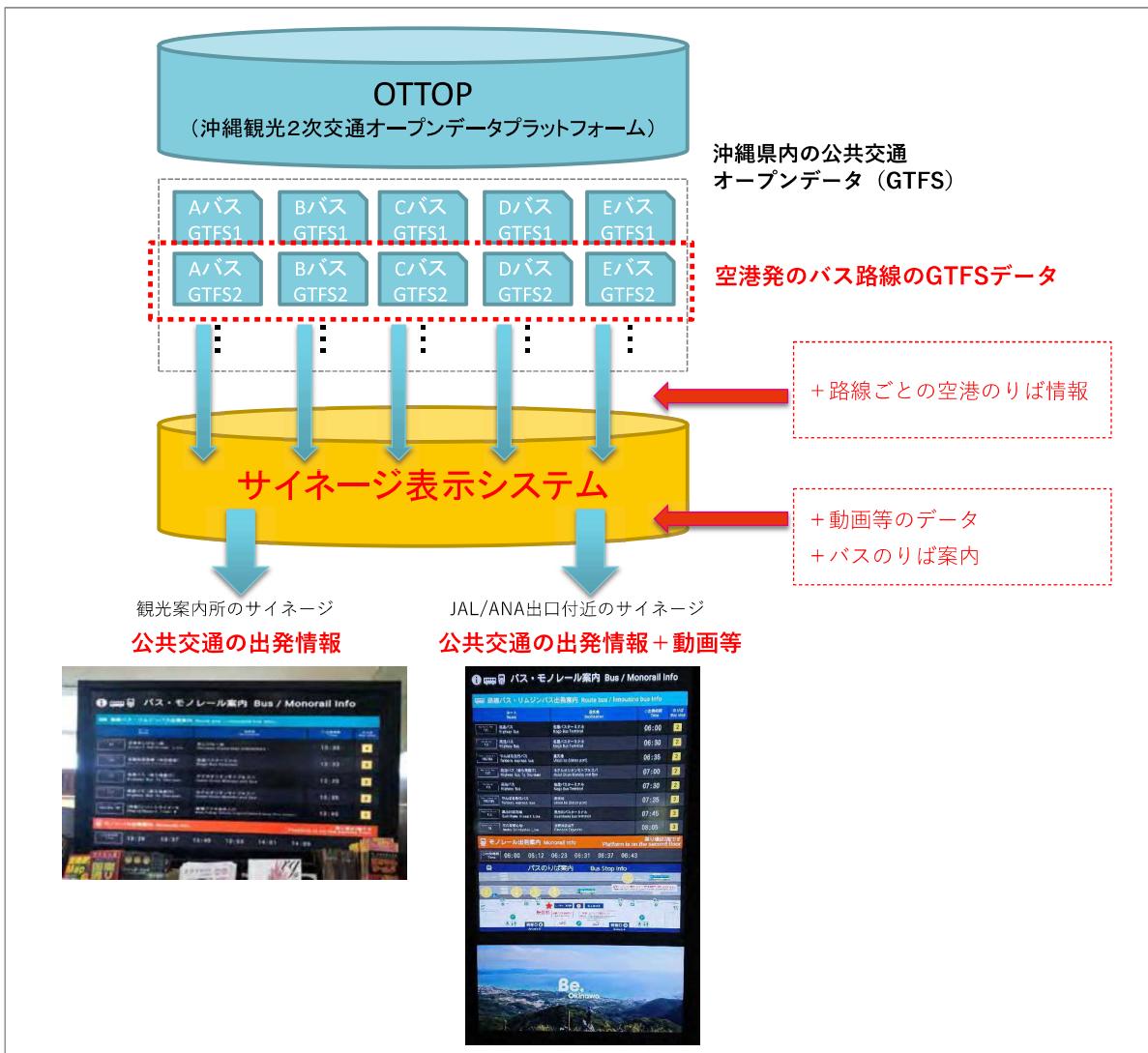
図表 51 API のアクセス件数（週単位）の推移

4.2 OTTOP の利活用の状況

4.2.1 デジタルサイネージによる公共交通出発情報提供

那覇空港国内線にてバス・モノレールの案内を行っているデジタルサイネージにおいて、OTTOP のデータ及びシステムを活用している状況である。

⇒利用者アンケート結果では、本デジタルサイネージを見た方のうち約 8 割が「参考になった」と回答するなど利便性向上に寄与している。



図表 52 構築した公共交通情報の表示システムのイメージ図

4.2.2 国内の経路検索事業者（コンテンツプロバイダ）における活用

国内の経路検索事業者（コンテンツプロバイダ）より離島・コミバスのデータ活用や、バスロケでの活用に関して事務局へ相談がある状況である。

また、NAVITIME、Yahoo!、駅すぱあとをはじめとして、検索可能な事業者が増加している。特にNAVITIMEについては、令和3年3月2日に全国コミバスカバー率100%を達成している状況である。

日本初、全国のコミュニティバスカバー率100%達成※！

2021年3月2日 16:15 ツイート LINE 1,0

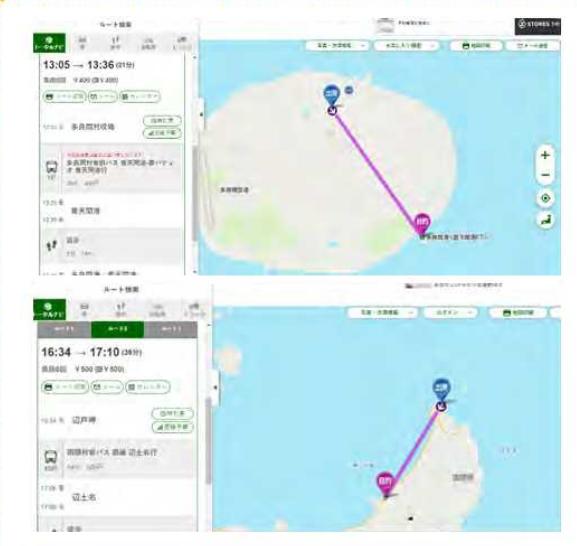
NAVITIME
路線バス・コミュニティバス導入率
全国100%達成！

~1170自治体のコミュニティバスを利用したルート検索が可能に。バスの利用促進に貢献～

株式会社ナビタイムジャパン（代表取締役社長：大西啓介、本社：東京都港区）は、2021年3月2日（火）より、ナビタイムジャパンが提供する、『NAVITIME』をはじめとする7つのコンシューマー向けナビゲーションサービスや法人向け『NAVITIME API』等において、日本で初めて、全国すべてのコミュニティバス情報に対応します。これにより、全国のコミュニティバスを利用したルート検索や時刻表、地図上での停留所表示等が可能になります。

沖縄県
東村コミュニティバス
多良間村有償バス
与那国生活路線バス
国頭村営バス
鹿バス（読谷村）
伊平屋村コミュニティバス
Nバス（南城市）
北中城村観光周遊バス
C-BUS（北谷町）
いとちゃんmini（糸満市）
久米島町営バス
村営コミュニティバス（粟国村）
護佐丸バス（中城村）
沖縄市循環バス
座間味村営バス

NAVITIMEにおいて沖縄県内のコミュニティバスは100%経路検索可能な状態



PRTIMESより 令和3年3月2日

図表 53 NAVITIME のコミバスに関するデータの対応状況

4.2.3 観光情報サイト等における活用

県内自治体より観光情報サイトにおけるバス情報の掲載にあたっての OTTOP 活用の相談が寄せられている状況である。うち、一部自治体に対しては、事務局より OTTOP より生成したバス停の位置情報や時刻表一覧の提供等を行う等、サポートを行った。

また、海外の観光情報提供サイトについては、恒常的な OTTOP へのアクセスを確認しており、サービスのデータ基盤として活用されていることが推察される。



図表 54 国・地域別の OTTOP へのアクセス状況（2021.3 時点）